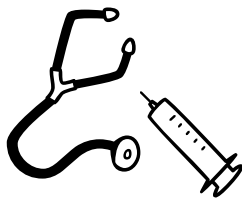
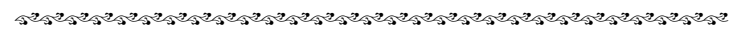


医学部生活を 無事に生き抜く ための本



金子雄太郎

はじめに



数ある書籍の中から本書をお手に取ってくださり、ありがとうございます。最初に私のプロフィールと本書を執筆するに至った経緯をお話しさせていただければと思います。

まず、恐縮ですが私のプロフィールをお話しさせていただきたいと思います。

私は、2018年医学部を卒業し、現在、関東の某市中病院で研修医しております。まず、私が医学部に入学するまでの経緯を紹介させていただくと、現役時代は医学部を目指していたものの、成績が全く医学部合格レベルに及ばず、もともと哲学や心理学が好きだったので、医学部を諦め心理学科に進学しました。しかし、医学部への夢が諦められず、心理学科入学後1年で退学、その後予備校などには通わず、1から徹底的に医学部入試を独自に研究し、1年間の浪人を経て医学部に入学しました。私の出た高校では、それまで医学部合格者が出ていなかったこともあり、2015年自身の経験をもとに『医学部合格者が出たことのない高校から最初の1人になる方法』という書籍をエール出版社様から出版させていただきました。それから、在学中はずっと医学部受験生の方の相談や指導などを行わせていただいております。

次に、本書の執筆に至った経緯ですが、医学部入試が非常に大変なものであるという事実は本書を手にとってくださった皆様で

したら、既にご存知のことと思います。しかし、医学部合格は人生における大きな通過点であることは間違いありませんが、決してゴールではありません。無事に医学部を卒業し、医師国家試験に合格することで初めて医師として現場に立つことができます。

医学部は入ってから大変という事実も一般的に認知されているように感じますが、一体何がそれほど大変なのか、勉強なのか、実習なのか、はたまた人間関係なのかということに関しては、なかなかイメージがつかみにくいところかと思います。医学部受験の大変さ、その乗り越え方に関する書籍は世間に数多あれど、医学部生活の具体的な大変さ、その乗り越え方に関する書籍はこれまでになく、苦勞の多い医学部という学部の性質上、そのような書籍の必要性を感じたことが本書の執筆に至った理由です。

それというのも、実は私は2年生の頃にまさかの留年を喫するという手痛い経験をしています。医学部では、留年が一般の大学と比較し、想像以上に身近な問題になってきます。また、留年だけでなく、医学部だからこそ起きる問題というのはそこかしこに散りばめられています。留年ほど頻度は高くないものの、留年どころか放校になってしまい医師になる道を閉ざされてしまう人も一定数存在します。入学から卒業まで何の苦勞も悩みもなくひたすら順風満帆に医学部を卒業するのは非常に困難であり、そのようないろいろなハードル、苦勞を含めて医学部生活であると言

ってしまっても過言ではないと感じます。

しかし、もちろん本書の目的は、医学部はこんなに大変なんですよ！ 舐めてかかるとえらいことになりますよ！ と脅かすことではありません。むしろその逆で、医学部生活において乗り越えなければいけないハードル、起こりうる問題を事前に知り、その正しい対処法、乗り越え方を身につけておけば、留年を喫することもなく、放校になるような非常に厳しい状況に陥ることもなく、心穏やかに、大変ではあるけれど楽しく充実した学生生活を送ることができると思います。そして笑顔で皆様に無事医師になっていただくことが本書の目的です。

また、医学生だけでなく、これから医学部受験を考えていて実際の医学部の様子を知りたい受験生の皆様やそのご両親の皆様、単純に医学生ってどんなことをしているのか見てみたいという方にもお楽しみいただける内容となっております。本書の最後に、付録として私の医学部受験体験記を載せていただいたので、合わせてご参考いただければ幸いです。

医学部生活は確かに一筋縄ではいきません。辛い受験勉強を勝ち抜いてやっと医学部に入学したのに、まだこんなに苦勞しなければいけないのかと、ため息が出るときもあるかと思えます。し

かし、ここでしかできない貴重な経験や大切な仲間は、やはり他学部とは一味も二味も違うものに感じます。同じ辛い時期を経験した仲間は、いわば戦友です。楽しいことだけではなく、同じ苦勞、同じ修羅場を共に潜り抜けることで、仲間との友情は想像以上に強くなります。

皆様が晴れ晴れとした笑顔で医師になるその日まで、本書が微力ながらお役に立つことができれば、筆者としてこれ以上の喜びはありません。

2018年7月

金子 雄太郎

はじめに..... 2

第1章 医学部における部活の立ち位置

医学部における部活動の特殊性と部活に入ることのメリット.....10

- 1. 友人がしやすい 11
- 2. タテ・ヨコの繋がりができる 11
- 3. 東医体、西医体という一大イベントがある 12

部活動が苦手なあなたはどうすればよいのか.....15

- 1. 部活に入らない 15
- 2. 自由度の高い部活に入部する 17

第2章 定期試験ってどう乗り切るの？

医学部の定期試験と大学受験の大きな違い.....20

- 1. 過去問は必須 20
- 2. 同じ問題が出題される 21

学内試験の具体的な勉強法.....23

- ステップ1 まずは講義資料を1周読み込む 23
- ステップ2 過去問を解く 25
- ステップ3 書きなぐりノートを作る 26

第3章 医学部と留年について

医学部で留年する人の4つのタイプと対処法.....30

- タイプ1 人生充実型 31
- タイプ2 非効率型 32
- タイプ3 勉強合わない型 35
- タイプ4 心理 36

第4章 CBT, OSCE ってなに？

～CBT,OSCE の概要と乗り切り方～

CBT, OSCE 試験の対策法42

- 1. CBT の概要 43

●CBT の乗り切り方 45

- 2. OSCE の概要 51

●OSCE の乗り切り方 54

第5章 ついにポリクリ！どう乗り切ればいいの？

ポリクリの対策法.....58

●ポリクリの乗り切り方 60

- 1. ポリクリ自体の大変さに対するの対処法 61
- 2. 人間関係の大変さに対するの対処法 63

第6章 最後の実習、クリニカルクラークシップ！

～クリクラとPCC-OSCE～

テクニカルクラークシップの対策法72

PCC-OSCE について75

第7章 マッチングってなに？

～医学部独特の就職システム～

マッチングを成功させる方法..... 96

- 1. 病院探しについて 97
- 2. 病院見学について 98
- 3. 採用試験を受験する 104
- 4. マッチング登録をする 107

第8章 ついに卒業試験！これさえ受ければ卒業だ！

卒業試験の対策法..... 114

- 1. 何をを用いて勉強するか 116
- 2. 実際の勉強の進め方 119

第9章 医学部生活6年間の総決算！医師国家試験！

医師国家試験の対策法..... 124

●新国試における変更点と概要 124

- 1. 試験日数と問題数が変更になった 124

2. 一般臨床における合格判定の出し方が変わった	125
3. 臨床問題の配点が変わった	126
●合格に必要な得点率の詳細	128
●医師国家試験の具体的な勉強法	133
1. 何を用いて勉強するか	134
2. 勉強の進め方について	136
3. 具体的な勉強法	148
付録 私の医学部受験体験記	176
おわりに	197

第1章

医学部における 部活の立ち位置

● 医学部における部活動の特殊性と部活に入ることのメリット

まず皆様が医学部に入学して、最初の悩みとしては部活動が挙げられると思います。入学後すぐに新入生歓迎期間が始まり、いろいろな部活が新入生を歓迎し、そして勧誘します。そこで皆様はどの部活に入ろうか非常に悩まれると思います。

ここでは、まず皆様に知っておいていただきたい医学部における部活の重要性と、部活動の選択に関するアドバイスを書かせていただきたいと思います。

まず、前述の通り医学部の特殊性の1つに部活動の重要性の高さがあります。

皆様は部活動という言葉に対してどんなイメージを持つでしょうか。中学、高校にも部活動はありましたが、本気で全国大会を目指したり、プロを目指したりしなければ、基本的には放課後の余暇を楽しむものという感覚が一般的かと思います。もちろん医学部における部活動もその側面はあります。しかし、一般的な部活動のイメージよりも医学部における部活動の学生生活や後の人生に占める影響力は思ったよりも大きいということをまずお話しさせていただきたいと思います。なぜ、それほどまでに医学部において部活動が重要視されているのか、部活に入部するメリットを通して、その理由を書いていきたいと思います。

1 友人がしやすい

これは、特に医学部に限った話ではありませんが、やはり入学当初は誰も友人ができるかどうか不安に駆られるのではないのでしょうか。

そこで、部活動に入れば、必然的に同じ時間を共に過ごすメンバーができるので、学生生活最初の課題である友人作りをクリアすることができますし、私の大学では、同じ部活の人同士で行動している場合が多く見られ、昼食や試験勉強など、要所要所で一緒に行動する仲間ができるというのも部活に入部する大きなメリットかと思います。また、競技場や道場が近い別の部活の同級生とも顔を合わせる機会が多いので、近場の他部活の友人もできやすいというメリットもあるかと思います。

2 タテ・ヨコの繋がりができる

ヨコの繋がりに関しては、前述した通りなので、ここではタテの繋がりについて書いていきます。実は、医学部における部活の重要性の本質はここにあると個人的には思います。

まず、入学してすぐの段階では、先輩という存在が大きいです。医学部に入学して右も左も分からない状態で、すでに医学部のことを熟知している頼れる存在がいるというのは非常に大きい要素かと思います。また、直近の問題として試験の過去問を回してもらえという非常に大きなメリットもあります。これは、次の章

おわりに

現在、研修医として覚えなければいけない知識、身につけなければいけない手技を習得するため毎日忙しくも充実した日々を送っております。この前まで医学生だったのに、気づけば随分と遠く過去のような気がします。

医学生時代のことを思い出してみると、初めは周りの優秀な同級生の中に揉まれ、ついていくのに一杯一杯だったように思います。自分は本当に医学部でやっていけるのだろうか？ 無事に卒業し、本当に医師になることはできるのだろうか？ 在学中、ふとしたときにそんなことをずっと考えていました。

こんな不安を抱えているのは自分だけではないかと思っていましたが、同級生と話してみると多かれ少なかれみんな同じような不安を抱えていることを知りました。

医学部は、確かに大変です。少し油断したらすぐに留年の危機に陥りますし、そもそも入るのも大変なので、大学受験の頃から数えると20代のほとんどを医師免許取得のために使ってしまう人も少なくないでしょう。

それだけの価値が、医学部にあるのかと問われると、医学部を卒業した今、私はその価値は確かにあったと思います。

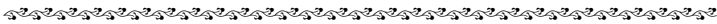
おわりに

この書籍を手にとってくださった既に医学部に入学されている方も、これから医学部受験に挑もうと思っている方も、この道を選んだことでこれから先、いろいろな苦勞が待っていると思います。私も、まさか自分が留年を経験するなんて、入学前は本当に微塵も考えていませんでした。

この本を読んでくださっている方の中には、既に悩み多き日々を送っている方もいらっしゃると思いますが、医学部は苦勞も多い分、やはり他では絶対に味わえない素晴らしい経験をもたらしてくれます。嬉しいことも苦しいことも、医学部での様々な経験は、今までの人生では味わったことのない、とても濃密で人生の糧となるようなことばかりだったように思います。

この書籍を通して、皆様に一番伝えたいことは、今皆様がどのような状況にいたとしても、皆様を陰で見守ってくれている方、応援してくれている方、そして助けてくれる人は必ずいます。辛いときは、頼りましょう。

相談する相手に迷惑にならないか気になってしまって相談できずにいる人もよく見かけますが、誰かに手を差し伸べてもらったら、今度は自分が悩んでいる誰かに手を差し伸べればいいだけです。



最後に、再試にかかるわ留年するわと心配や苦労ばかりかけた両親、そして辛い時に心から心配し、卒業まで常に手を差し伸べてくれた恩師や友人たちに心から感謝いたします。1人では絶対にここまで来られませんでした。

また、私のどうしても出版したいという熱意に応えてくださり、こんなニッチな需要の書籍を出版させていただいたエール出版社様の皆様に心からの感謝の意を表したいと思います。本当にありがとうございました。

最後に、ここまで読んでくださった読者の皆様、皆様の医学生生活、そしてその先の人生が輝かしいものになることを心から願ってやみません。どこかの病院で出会ったらどうぞお声かけください。近い将来、皆様にどこかでお会いできることを楽しみにしています(^_^)

金子 雄太郎

■著者プロフィール■

金子 雄太郎 (かねこ ゆうたろう)

東京慈恵会医科大学医学部医学科卒業。
高校の現役時代は成績が足りなさすぎて、医学部を諦め心理学科に進学。1年間在籍後、もう一度医学部を目指すべく中退。1年間の浪人期間を経て慈恵医大合格。母校から1人目の医学部合格者となる。学生時代は自身の経験を生かすため、ブログを設立し、ブログを通じた情報提供、医学部受験相談や指導、また一般の方に向けて医学知識を解説する活動を行っていた。
現在、関東の某病院で研修医1年目として奮闘中。

医学部生活を 無事に生き抜くための本

2018年8月20日 初版第1刷発行

著者 金子 雄太郎
編集人 清水智則／発行所 エール出版社
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12
電話 03(3291)0306
FAX 03(3291)0310
メール info@yell-books.com

*定価はカバーに表示してあります。
乱丁・落丁本はおとりかえいたします。

© 禁無断転載

ISBN978-4-7539-3431-7